令和８年１１月６日
大阪公立大学医学部付属病院

経尿道的膀胱腫瘍切除術施行時に直腸穿孔を来した事例について

当院において、経尿道的膀胱腫瘍切除術時に、切除鏡による直腸穿孔を来した事例が発生しましたことをご報告申し上げます。

この事例におきまして、速やかに医療安全に関する会議を開催し、原因分析および再発防止策の検討を行いました。その結果、専門医取得前の医師が執刀する場合、上級医が尿道に狭窄がないことを確認し、その後、上級医指導のもとで切除鏡を挿入する。これを一定数経験させることを徹底し、今後の再発防止に努めてまいります。

患者さん、ご家族をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げます。今後このようなことが再び起こることのないよう、再発防止に全力で取り組んでまいります。